

質疑回答書

契約番号 1－15号

件 名 可児市立桜ヶ丘小学校校舎長寿命化改良工事(建築工事)

	質 問	回 答
1	メッシュフェンスについて 参考数量内訳書 144P 記載「メッシュフェンス門扉 W=920」 210P 記載「メッシュフェンス門扉 W=1800」 図面 187 番記載「フェンス門扉 W=2000」 図面より H=1800、W=2000 と考えてよろしいでしょうか。 また、図面外構詳細図にて「メッシュフェンス」と、「フェンス門扉」の支柱上部の飾り形状が違いますので、どちらの仕様かご指示願います。	メッシュフェンスの寸法は図面 187 を正とし、H=1800、W=2000 とする。 支柱上部の飾り形状は、「メッシュフェンス」の仕様と同等品のものとする。
2	囲障・車止めポールについて 参考数量内訳書 144P 記載「固定式・Φ50.8×H860（初付色）」 211P 記載「固定式・Φ76.3×H850」 図面 186 番記載「固定式・Φ60.5×H850（亜鉛メッキ＋焼付塗装）」 06 番記載「上下式鎖内蔵式・Φ60.5×H850」 仕様、規格寸法、色について、ご指示願います。	囲障・車止めポールの仕様は図面 186 を正とし、固定式・Φ60.5×H850、亜鉛メッキ＋焼付塗装とする。

3	石綿含有建材除去工法について 図面 20 番記載「集塵装置付き超高压水洗工法」→外壁・軒裏・庇 「剥離剤併用手工具ケレン工法」→内装建材 44、45 番記載「集塵装置付き超高压水洗工法」→外部全て 46、47 番記載「剥離剤併用手工具ケレン工法」→普通・管理・特別教室、昇降口棟 「集塵装置付き超高压水洗工法」→普通教室棟、渡り廊下棟 参考内訳書 85P 記載「剥離剤併用手工具ケレン工法」→普通・管理・特別教室、昇降口棟 「剥離剤併用手工具ケレン工法」→普通教室棟、渡り廊下棟 「剥離剤併用手工具ケレン工法」→内部 191、192P 記載「剥離剤併用手工具ケレン工法」→普通・管理・特別教室、昇降口棟 「集塵装置付き超高压水洗工法」→普通教室棟、渡り廊下棟 工法の範囲が不明確ですのでご指示願います。	外部は、「集塵装置付き超高压水洗工法」とする。 内部は、「剥離剤併用手工具ケレン工法」とする。
4	石綿含有建材調査について 図面 08 番記載「定性分析 箇所数 6、定量分析 箇所数 6」 「1 箇所あたり 3 サンプル」	参考内訳書 236P 「定性分析 2 検体、定量分析 2 検体」を正とする。 (内訳は、2 箇所×3 サンプルとし、3 サンプル混合を 1 検体とする。)

	参考内訳書 236P「定性分析 2 検体、定量分析 2 検体」となっています。 図面特記より、外装薄塗材について定性分析を 18 検体、定量分析を 18 検体と考えてよろしいでしょうか。 また、定量分析を行えば同一箇所であれば定性分析は不要かと思しますので、どの箇所が定性分析までで OK で、どの箇所が定量分析を行うのかご指示願います。	調査箇所は、図面 20 のアスベスト調査の通り、軒裏・庇各仕上とする。 定性分析でアスベスト含有が確認された場合は、定量分析を行うこととする。
5	石綿含有建材について 図番 21 多目的スペース梁型、階段室 1・2 天井、図番 24 通路天井の複層塗材 E 撤去の表記に『アス』の表記が無いですが、アスベスト含有無と考えてよろしいでしょうか。	図面 21 は、図面の通り多目的スペース梁型、階段室 1・2 天井は、アスベスト含有は無とする。 図番 24 の通路天井の複層塗材 E は、アスベスト含有は有とする。
6	石綿含有建材について 床材の VS 撤去に『アス』の表記がありますが、参考内訳書内では環境配慮工事として床材が計上されていませんが、石綿含有建材と考えてよろしいでしょうか。 また、図番 25 渡り廊下の VS 撤去も石綿含有建材と考えてよろしいでしょうか。	床材の VS 撤去は、石綿含有建材とする。 図面 25 渡り廊下の VS 撤去は、石綿含有建材とする。
7	小荷物専用昇降機が有りますが、本工事に適合するメーカーについてご指示願います。 また、メーカーへの問い合わせ先（支店・営業所・部署・担当者）についてもご指示頂けるとありがたいです。	菱電エレベーター施設㈱ 名古屋支店 担当者：山口 日本リフト工業㈱ 担当者：黒田 ㈱サリフト 担当者：中尾

8	エレベーター、ダムウエーターの工事は、保守契約は別途となりますか ご指示ください。	保守契約は別途とする。
9	ELV 棟 鉄骨柱 C1、C2 について 柱長さが 約 11.5m程ありますが、 現場への搬入・建て方等に支障は有 りませんか（柱の分割は必要有りま せんか）ご指示ください。	図面 202 仮設計画図の通り、グラウンドか らの搬入・建て方とする。 柱の分割が必要な場合は、監督員と協議す る。
10	普通・管理・特別教室棟、昇降口棟 既設塗膜笠木、PS 天端 撤去 140 m ² と記載されていますが、全面撤 去は難しいと思われますので、防水 層の破断、穴あき箇所の浮き部分及 びふくれ部分を切除し、ポリマーセ メントモルタル補修と考えて宜し いですか。	図面の通りとする。 施工上撤去が不可能な部分が発生した場 合は監督員と協議する。
11	普通教室棟 既設塗膜防水立上り 撤去 72.1m ² と記載されています が、全面撤去は難しいと思われま すので、防水層の破断、穴あき箇所の 浮き部分及びふくれ部分を切除し、 ポリマーセメントモルタル補修と 考えて宜しいですか。	図面の通りとする。 施工上撤去が不可能な部分が発生した場 合は監督員と協議する。
12	渡り廊下棟 既設塗膜防水立上り 撤去 28.5m ² と記載されています が、全面撤去は難しいと思われま すので、防水層の破断、穴あき箇所の 浮き部分及びふくれ部分を切除し、 ポリマーセメントモルタル補修と 考えて宜しいですか。	図面の通りとする。 施工上撤去が不可能な部分が発生した場 合は監督員と協議する。